

## 教師用 人権意識チェック結果

いつもあてはまる …3点      だいたいあてはまる …2点      あまりあてはまらない …1点

番号	項目	1.5    2    2.5    3
1	機会を捉え、「一人一人がかけがえのない存在であること」や「生命の大切さ」について語り、自覚させる場を設けている。	2.5
2	一人一人に分け隔てなく、明るく挨拶したり言葉をかけたりしている。	2.5
3	児童生徒の名前に「さん」を付けて呼ぶなど、丁寧な言葉遣いをしている。	2.5
4	どの児童生徒も授業に参加し、よさが発揮できるように、一人一人の実態に応じた授業をしている。	2.5
5	特別な支援を必要とする児童生徒に対して、個に応じた温かい態度で接している。	2.5
6	不登校傾向にある児童生徒の座席等に配慮し、常に学級の一員であることを意識している。	2.5
7	他の児童生徒に対する嫌がらせ、仲間はずれ、失敗や間違いに対する冷やかしの言動を見逃さずに注意している。	2.5
8	「いじめられる方にも問題がある」などと、いじめの原因を被害者のせいにしていない。	2.5
9	遅刻や忘れ物をした児童生徒に理由も聞かずに注意したり、名前を呼び出したりしていない。	2.5
10	「こんなこともできないのか」などと、児童生徒を傷付けるような言い方をしたり、行動をとったりしていない。	2.5
11	「また…か」「いつも…だ」などと、児童生徒を固定的・断定的に見ていない。	2.5
12	「男とのくせに」とか「女らしく」などと、性別で差を付けたような言い方をしていない。	2.5
13	「あの国籍の子は…」「あのクラスの子は…」などの偏った見方をしていない。	2.5
14	「よい学級」「レベルの低い学年」などと、学級、学年に優劣を付けた言い方をしていない。	2.5
15	「しっかり勉強しないと、よい高校に行けないし、よい職業にも就けない」などと、進路先や職業に善し悪しを付けるような言い方をしていない。	2.5
16	学校のホームページ等に不用意に児童生徒の個人情報(氏名、住所、写真等)を掲載していない。	2.5
17	連絡帳等を見開きで放置したり、個人情報資料を不用意に扱ったりしていない。	2.5
18	児童生徒や保護者の承諾を得ないで作文や日記の内容を話題にしたり、学級通信や研究論文等に掲載したりしていない。	2.5
19	家族調査や面談等で知り得た個人情報を不用意に職場や地域で話していない。	2.5
20	教職員間で人権への配慮に欠けた言動に気付いたとき、互いに指摘し合うことができる。	2.5

